

【課題1】 生活の功罪を考える (「生活の科学化」から「科学の生活化」へ)

科学技術の発展や高度な社会システムに支えられ、私たちの社会や生活はますます便利で豊かになっています(=メリット)。一方でそれが、人間生活に矛盾や弊害をもたらすことも考えられます(=デメリット)。それについてのあなたの考えを、具体的な事例を挙げて述べましょう。

(1)生活を‘豊か’(便利・快適・安全・安心…など)にするために登場したと思われる事象(もの、こと、しきみ)の中から、テーマを決め、そのメリットとデメリットを書いてください。

(2)そのことについてのあなたの考えを、具体的な事例を挙げて述べてください。

- ・テーマ(事象)を「2つ」決め、各テーマについて(1)・(2)をする。
- ・プリントを活用し、手書きで記述する。

【テーマの事例】

- | | | | |
|--------|---------------------------------|--------------|----------------------|
| ・ドローン | ・SNS(Sosial Networking Service) | ・スマートフォン | ・ネットショッピング |
| ・防犯カメラ | ・コンビニ深夜営業 | ・遺伝子組換え | ・VR(Virtual Reality) |
| ・ロボット | ・AI(Artifical intelligence) | ・オートロックマンション | ・クレジットカード |
| ・格安商品 | ・生殖医療(不妊治療など) | ・インスタント食品 | ・ファストフード |
| ・法律・条例 | ・ファストファッショ | ・グーグルアース | ・ChatGPT …など自由 |

【メリット・デメリットの事例】

テーマ: インターネットショッピング	
メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・店に行かずに買い物ができる ・重い物や複数の商品も運んで来てもらうことができる ・家の近くでは見つからなかった商品が買える ・実店舗より品ぞろえが豊富である ・商品へのレビューを参考にして購入できる ・現金を使わなくてよい(用意していないなくても買える) ・24時間好きな時間に買い物ができる …など 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の実物を手に取って五感で確かめられない ・購入から商品受け取りまでに時間がかかる ・送料がかかる ・思っていた商品ではなかったり、偽物や破損品が届いたりなどのトラブルが生じることがある ・返品の場合、手続きが面倒になる ・レビューや広告が信頼できる内容とは限らない ・商品を買いすぎてしまう ・個人情報が流出するリスクがある …など

入学前講座 登校(必須)のお知らせ

3月24日(火) 13時から 2302教室(2号館3階) スーツ等で登校する必要はありません

持ち物: 入学前教育学科課題 筆記用具 大学での学びや心構えについてガイダンスがあります。

【課題1—①】 生活の功罪を考える（「生活の科学化」から「科学の生活化」へ）

(1)生活を‘豊か’(便利・快適・安全・安心…など)にするために登場したと思われる事象(もの、こと、しきみ)の中から、テーマを決め、そのメリットとデメリットを書いてください。

テーマ1：

テーマ1： メリット・優れている点(利便性、機能性など)	デメリット・問題点(危険性、弱点など)

(2) そのことについてのあなたの考え方を、具体的な事例を挙げて述べてください。

(用紙が足りない場合は別紙に記入)

【課題1—②】 生活の功罪を考える（「生活の科学化」から「科学の生活化」へ）

(1)生活を‘豊か’(便利・快適・安全・安心…など)にするために登場したと思われる事象(もの、こと、しきみ)の中から、テーマを決め、そのメリットとデメリットを書いてください。

テーマ2 :	メリット・優れている点(利便性、機能性など)	デメリット・問題点(危険性、弱点など)

(2) そのことについてのあなたの考え方を、具体的な事例を挙げて述べてください。

(用紙が足りない場合は別紙に記入)

【課題2】生活に関するニュースや時事問題を考察する

(1)生活に関するニュースや時事問題を、新聞またはデジタル版の記事から選ぶ。【2題】

(2)記事内容を切り取り(または印刷し)レポート用紙(またはノート)に貼り付ける。

(3)記事内容について要約する。【200字程度】

(4)記事内容に関することを、他の文献・資料を使って調べ確認し、考察する。【600～800字程度】

- * 手書きで記述する。
- * 家庭科の教科書・資料集の活用を薦めます。
- * 活用した文献・資料の出典を、考察のいちばん最後に記載する。

【記入例】作者(その文章を書いた人)・書名(タイトル)・出版社・発表年

春日(教科書編集委員会):新家庭基礎21・実教出版・2017年

山田(記者名)・毎日新聞社説・毎日新聞社・2020年

文部科学省・「全国学力・学習調査結果」・2019年(文部科学省HPから)

(5)記事内容が生活を構成するどの分野にあてはまるかを選ぶ(複数分野を選んでもよい)

- * 記事を選ぶ際にも参考にしてください。
- * 下記以外の分野(たとえば政治・経済、医療、生物、文学、哲学、など)も、すべて生活にかかわってきますので、1～9に該当していなくても構いません。

- 1 家族・家庭
- 2 子ども・保育
- 3 高齢者・障がい者(福祉)
- 4 食生活
- 5 衣生活
- 6 住生活
- 7 生活経営・生活経済
- 8 消費・環境
- 9 地域社会
- 10 その他 ()

(6)提出方法

用紙はレポート用紙が望ましい。

必ず表紙を付け、表紙に受験番号と氏名を記入すること。

レポート用紙はホッチキスもしくはファイルにとじ、バラバラにならないようにすること。

提出日：3月24日 入学前教育登校日